

～スローガン～

実行力

Positive Forward
自ら進んで一歩を踏み出す

～テーマ～

～人こそが最大の財産～

第39号 2013. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 渡辺一徳 編集責任者：福庭貞志 第39期広報委員会 印刷所：東京印刷(株)

雄飛



鳥取県西部中小企業青年中央会
第39期会長 渡辺 一徳

株式会社大友自動車 代表取締役
S 46年 1月生まれ
(中央会活動経歴)

H10年度入会 / H14年度 副委員長 /
H16年度 委員長 / H17年度 県出向理事 /
H18年度 県監事 / H21年度 専務理事 /
H22年度 副会長 / H24年度 監事



ご挨拶

第39期、鳥取県西部中小企業青年中央会会長を務めさせて頂きます、渡辺一徳です。どうぞよろしくお願い致します。7月の平成25年度通常総会懇親会では、ご来賓の皆様方、多数のOB会員の皆様方におかれましては、大変お忙しい中ご出席頂きまして誠にありがとうございました。

さて、青年中央会第39期のスローガンを『実行力』と掲げさせて頂きました。青年中央会は常に実践、実行の場であると思います。議論だけでは終わらない、一度決めたら必ず実行する、やり遂げる場だと思います。最近、意見を述べるだけで実行に移さない人や、批評や批判はするものの、実行するとなると尻込みする人も多いように思います。そのような中、実践実行の連続でもある青年中央会は、実は最高の場所ではないだろうかと思えます。一流と呼ばれる経営者や大きな成功を収めた経営者、地元においても凄いと感じさせる経営者は皆、実行する力、実行力を身につけています。そこで、会員全員に実行力を身につけてほしい、もしくは実行力に磨きをかけてほしいと考え、今年度のスローガンを『実行力』と致しました。

そして、活動テーマを『人こそが最大の財産』と掲げさせ

て頂きました。このように実践実行の場である青年中央会ですが、その中心となるのは紛れもなく会員＝人です。大勢の会員から成る青年中央会です。決して楽しいだけの会という事ではありません。議論をぶつけ合う時もありますが、青年中央会の綱領である『英知・友愛・団結』の下、同じ志を持ち同じ活動をしている仲間です。最終的には納得し、理解し合い、絆もきつと強くなっているでしょう。私の長い青年中央会活動の中で、会員＝人が一番重要、財産(たから)なのだと思えて実感しました。財産(たから)であるからこそ、会員一人ひとりがレベルアップしなければいけませんし、個々が自立して更に高めて行く必要があると思えます。

第39期の委員会ですが、絆委員会・ビジネス経営委員会・政治行政委員会・広報委員会・総務委員会・40周年記念事業委員会の6委員会で構成させて頂きました。

青年中央会は来年度、40周年という大きな節目の年を迎えます。青年中央会の内側から外側から、青年中央会は良い、素晴らしいと言われるような会に40周年を前に会員全員で実行力を伴って取り組んで行きたいと考えています。1年間どうぞよろしくお願い致します。

副会長・専務理事ごあいさつ



絆委員会担当

副会長 松尾友雄

日成工業(有) 営業部次長
S45年7月生まれ
〈中央会活動履歴〉
H19年度入会/H22年度 副委員長/
H23年度 委員長

第39期、副会長を拝命いたしました松尾友雄です。所属企業は日成工業(有)です。皆様、1年間宜しくお願ひいたします。尚、担当させて頂く委員会は『絆委員会』です。

絆委員会の名前のように辻委員長・山口副委員長、そして委員会メンバーと共にしっかりと絆をつくり上げ、他の委員会から羨ましがられるような委員会になるよう、そして委員会運営がスムーズに出来るようサポートしていきたいと思っております。

微力ではございますが、渡辺会長を盛り立て、第39期スローガンであります『実行力』を委員会メンバーと共に養い、磨きをかける為、一生懸命頑張りますのでご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願ひいたします。



広報委員会担当

副会長 福庭貴志

(有)タイヤ館米子 代表取締役
S45年6月生まれ
〈中央会活動履歴〉
H14年度入会/H16年度 副委員長/
H18年度 県出向/H23年度 委員長

今期、副会長の職を拝命いたしました福庭です。どうぞよろしくお願ひします。

渡辺会長とは学生時代のクラスメートであり、第30期人づくり委員会では委員長・副委員長の関係でした。また仕事においても、お互い同じ自動車業界の経営者として切磋琢磨している間柄です。そのようなこともあり今期、副会長を勤めさせていただくことに深い縁を感じております。未熟者ではありますが、三役として精一杯の運営にあたりたいと思ひます。

担当の広報委員会は総務委員会と同じく会の要と言える委員会であり、入会実質1年目に会のことを学ばせていただいた思い入れのある委員会です。生田委員長と吉田副委員長をしっかりサポートしていきます。



ビジネス経営委員会担当

副会長 岩田 剛

山陰酸素工業(株) 松江支店LPガス特約課 課長
S45年1月生まれ
〈中央会活動履歴〉
H17年度入会/H19年度 副委員長/H21年度 委員長/
H22年度 副会長/H23年度 専務理事/H24年度 監事

第39期渡辺年度の副会長を拝命いたしました岩田剛と申します。所属企業は山陰酸素工業(株)です。渡辺会長がおっしゃられる「会員一人ひとりがこの会に入って良かったと思える会」に出来るよう、中身重視、会員同士の交流も重視で秋里委員長率いるビジネス経営委員会を担当いたします。

人と人の出会いはとても大切なものです。今期で卒会される会員もおられます。入会されたばかりの会員もおられます。素晴らしいメンバーと共に一期一会の出会いを大切に委員会を盛り立てて行きたいと思ひます。特に秋里委員長と奥森副委員長が1年間かけてどのように成長されるのか、とても楽しみにしています。辛いこともあると思ひますが、一緒に乗り越えて行きましょう。1年間どうぞ宜しくお願ひ致します。



40周年記念事業委員会担当

副会長(委員長 兼務) 松田幸紀

(株)かばはうす 代表取締役
S49年7月生まれ
〈中央会活動履歴〉
H16年度入会/H19年度 副委員長/H20年度 委員長/H21年度 県出向/H24年度 副会長

皆さんこんにちは。第39期40周年記念事業委員会、副会長兼委員長を拝命いたしました松田です。昨季に引き続き副会長、しかも40周年記念事業委員会。渡辺会長よりお話をいただいた時は本当に動揺いたしました。正直、私には荷が重いと感じましたが、中央会メンバー全員で取り組む記念事業です！私一人で悩む事でも、取り組む事でも無く、中央会メンバー全員で共に悩み、成功出来れば良い！と考え、副会長を引き受けさせていただきました！

不安ではありますが、やるからには本気で取り組み、本気で楽しみたいと考えておりますので、現役会員の皆様、OB会員の皆様のお力添えをお願ひし、挨拶に代えさせていただきます！

今年1年間よろしくお願ひ申し上げます。



政治行政委員会担当

副会長 牧田継夫

土地家屋調査士牧田継夫事務所 所長
S46年9月生まれ
〈中央会活動履歴〉
H14年度入会/H17年度 県出向/H18年度 委員長/
H21年度 副委員長/H23年度 県出向/H24年度 副会長

第39期副会長をさせていただきます、牧田と申します。政治行政委員会を担当させていただきます。1年間よろしくお願ひいたします。

今年度当委員会は、昨年度の道州制問題検討委員会の内容を引き継ぎ、道州制について追いかけていきたいと考えております。『自助・共助・公助』の形をどう表現し、最終的にどのような成果が残せるか、試行錯誤していきます。

委員長・副委員長・委員会メンバーとともに精一杯の『実行力』を発揮し、実りのある1年間にして参りますので、皆様のご協力どうぞよろしくお願ひいたします。



総務委員会担当

専務理事 盛政春樹

大同警備保障(有) 業務課長
S45年1月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成21年度入会/平成23年度 副委員長/
平成24年度 委員長

専務理事を拝命いたしました盛政です。所属企業は大同警備保障(有)です。担当委員会は総務委員会でございます。どうぞ宜しくお願ひいたします。

第38期は総務・40周年事業準備委員会の委員長、今期は専務理事という重職に就かせて頂き大変の引き締まる思いです。本年度のスローガンは『実行力』です。私自身一歩を踏み出して行動し、渡辺会長を盛りたてていきたいと思ひます。また、本田委員長・木嶋副委員長を中心とする総務委員会をサポートし、西部青年中央会基盤事業の企画と円滑な運営が行えるよう考え、実践し、中央会の会員として結果を残せるよう取り組んでまいります。微力ではございますが精一杯頑張りますので、1年間宜しくお願ひいたします。

委員長ごあいさつ



絆委員会

委員長 辻 拓哉

第39期絆委員会委員長を拝命いたしました辻拓哉です。今年度絆委員会のテーマを『学びそして実践』としました。委員会の活動を通してメンバーが成長することはもちろんのこと、それを中央会全体そして所属企業に活かせるような活動をしていきたいと考えています。

またサブテーマを『メリとハリで絆を深める』としました。中央会の良いところの一つは一生懸命活動し、一生懸命あそぶことだとおもいます。そういった本気の学び・実践とどっくばらんな交流が相互の理解を深める事に繋がるのではないかと考えています。

40周年を目前に控えた今、我々絆委員会が今一度原点に立ち返って、しっかりした活動をしていくことで、中央会全体の意識を高めていきたいとおもいます。

1年間どうぞよろしくご厚意申し上げます。

昭和ウインドウ(株)
代表取締役
S47年10月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成14年度 入会
平成17年度 副委員長



政治行政委員会

委員長 千石正信

政治行政委員会は、昨年度の道州制問題検討委員会の内容を引き継ぎます。人と人とのつながり・地域コミュニティのつながり・公共の福祉とのかかわり方を中心に、昨年の内容を更に深く掘り下げ、メンバー一人ひとりが自主自律を目指します。、若い会員から卒会予定者まで様々なメンバーの方がいらっしゃいますが、メンバー一丸となって体から汗を流し脳みそから汗を流す委員会を目指すと共に、第一回委員会から卒会旅行まで充実した委員会を目指します。

不慣れなため、手探りで進んで行くような場面もあるとは思いますが、副会長・副委員長を中心に協力して進めて参りますのでメンバーの皆様、1年間ご協力よろしくお願い致します。

(有)岩崎組
代表取締役
S47年6月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成21年度 入会
平成24年度 副委員長



ビジネス経営委員会

委員長 秋里武信

第39期ビジネス経営委員会の委員長を拝命しました秋里です。

第39期ビジネス経営委員会は、渡辺会長より『経営や会計の基礎を学ぶ』『自分の住む地域の自然や文化、観光などの資源=財(たから)の掘り起こし』『松江・安来YEGとの交流』と三つの指針をいただきました。どれもビジネスや経営に直結する内容となっております。また今期のテーマ『人こそが最大の財産』の言葉どおり、委員会のメンバーも経営・金融・会計・観光の経験や知識を持った方々が揃いました。委員長という立場ではありますが1年間の活動を通じ、しっかり学び、その中から会員皆様の『実行力』に繋がるものを発信できればと考えております。

委員会メンバー一丸となり、全力で頑張りますので、1年間どうぞ宜しくご厚意いたします。

水道屋あきさと
代表
S48年10月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成21年度 入会
平成24年度 副委員長



総務委員会

委員長 本田 繁

第39期総務委員会の委員長を拝命致しました本田繁です。

先日、担当事業の通常総会懇親会を終えて落ち着いているところですが、新年度スタートしたばかりです。再度、気を引き締めて中央会活動に臨んで参ります。

今年度のスローガン『実行力』を軸に、歴代の総務委員長が築き上げた事業活動を継承して、委員会運営にあたりたいと思います。委員会テーマを『魅力』と掲げました。魅力ある委員長、魅力ある委員会活動であれば、委員会メンバーが積極的に参加して委員会活動も活性化して行くと思います。まずは自分自身をじっくり見据えて、1年間頑張っ参りますので何卒宜しくご厚意致します。

ホテルサンルート米子
係長
S48年10月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成21年度 入会
平成23年度 副委員長



米子ガス(株)
企画・管理グループ
副グループ長
S49年4月生まれ
〈中央会活動履歴〉
平成19年度 入会

第39期広報委員会委員長を務めさせていただきます生田育永です。

今年度の広報委員会は、渡辺会長が掲げられた『実行力』のスローガンのもと、広報誌とホームページの質の向上に努めながら、青年中央会活動を会内外へ発信してまいります。

広報委員会の活動は、ともするとルーティンワークとしての活動へ陥りがちですが、委員会メンバーと共に、自分たちが面白いと納得できる広報活動をしていきたいと考えております。また、OB会員・現役会員の皆様へは取材等のお願いをさせていただくことがあるかもしれませんが、その節はご理解ご協力の程、お願いいたします。

来たる40周年に向けて広報委員会一同『実行力』を磨いてまいります。

1年間どうぞよろしくご厚意いたします。

広報委員会 委員長 生田育永

平成25年度通常総会

平成25年7月11日(木)
ホテルサンルート米子

平成25年7月11日(木) ホテルサンルート米子において、平成25年度通常総会が開催された。まず、河津会長より、「第38期は各委員会とも、非常に成果が出た。胸を張れるものであったと思う。本当に感謝の言葉しかない。ありがとうございました。」と挨拶があった。続いて、新入会員のバッチ授与式にて、北島美佳会員と村田博会員を新入会員として迎え、新入会員の2名は、それぞれの抱負と決意を述べた。



そして、第38期の締めくくりおよび第39期の船出として通常総会が開催され、議長には牧田副会長が推薦・選出された。議長進行のもと、第1号議案である平成24年度事業報告ならびに収支決算承認の件について、第38期竹ノ内専務理事の説明後、審議され承認可決された。続いて、第2号議案である平成25

年度事業計画ならびに収支予算案について、第39期盛政専務理事より説明があり、これも承認可決された。

次に、会員表彰式では、精勤賞28名、皆勤賞19名が発表され、記念品の授与があった。また、会長特別賞に道州制問題検討委員会、そして優秀委員会には教育対策検討委員会、栄えある最優秀委員会には政治行政委員会が河津会長より表彰された。濱田委員長は「道州制



問題だから、どんな活動しているのか解りづらかったと思うが、振り返ってみて、中身が充実したものになりました。」と挨拶した。また、白石委員長は「子育て世代ど真ん中で、本当にやりがいのある委員会をさせていただきました。職業講話も最後の最後までさせて頂きました。今



後とも自分のライフワークとして活動していきたい。」と述べた。そして、古谷委員長は「この度、最優秀委員会の賞をもらいましたが、自分がやりたいことを委員会メンバーに伝え、全員の力もあって最優秀をもらった。また、卒会される谷口会員から『この委員会について良かった』との言葉も委員長として嬉しかったです。」と述べた。



以上をもって、第38期にて『挑戦』をスローガンに邁進してきた中央会活動は幕を閉じ、新年度では『実行力』の旗印を掲げ、新たなスタートを切ることになった。(記事:荒川)

卒会式



通常総会に引き続き、桐田照生会員、谷口弘毅会員の卒会式が行われた。

現役会員を代表して第38期河津会長から、卒会証書・記念品・花束の授与と贈呈があり、加藤典史OB・畠山広幸OBによるお祝いのビデオメッセージが披露された。続いて卒会者一同より、河津会長に記念品が贈呈された。卒会者を代表して、谷口

新OBより挨拶があり、「中央会に入って、180度人生が変わった。逆に中央会に入らなかったら、素晴らしいメンバーと出会えなかったし、いろいろな経験も出来なかった。本当に、声を掛けてもらってよかった。この歳になると楽しいことを



一緒にした仲間よりも、本当に大変でつらいことを経験したメ

ンバーの方が、絆が深まると思った。明日からは中央会のOBだと誇りをもっていきます」と、胸いっぱい感激とともに、時折、涙を浮かべながらお話しされる姿が印象的だった。



卒会者の皆様、ご卒会おめでとうございます。会員一同よりますますのご活躍をお祈り申し上げます。(記事:荒川)

懇親会

総会・卒会式に続き、多数の来賓・OB会員にご出席いただき懇親会が盛大に開催されました。

冒頭、第39期渡辺会長から今期のスローガン『実行力』自ら進んで一歩を踏み出す、テーマ『人こそ最大の財産』と発表があり、「言うだけではなく行動に移すことこそが必要であり今の時代に求められることである。」と力強く熱い抱負を述べられました。そして今期の6委員会(絆委員会・ビジネス経営委員会・政治行政委員会・広報委員会・総務委員会・40周年記



念事業委員会)を発表し、並々ならぬ意気込みを語られました。



次に、御来賓にご挨拶をいただき、大江米子市経済部長の乾杯で懇親会がスタートしました。

最初は来賓・OB席へ現役会員が挨拶に伺っ



たり、名刺交換などを積極的に行っている姿が数多く見られ、和やかな雰囲気が始まった懇親会でしたが、次第に熱気を帯びてきました。

そして、第39期新役員・卒会者紹介に移り、新役員は今期に対する想いや渡辺会長を盛り立てていく決意を述べ、ご卒会される谷口新OBからは中央会に入るきっかけを作ってくれた方への感謝の想いや中央会生活の思い出、そして現役会員へ



の熱いメッセージを語られ、会場が感動の雰囲気に包まれました。

感動の余韻を残したまま、毎年恒例となっている皆生トライアスロン壮行会へと移っていきました。今年から応援団のメンバーを増員し、今川団長のもと、5名の応援団員で山本(博)OB・宮崎会員・チームTSC【安岡会員・赤井会員・白石会員・秋里会員】・チームまいしこ【横山会員・福庭

会員・後藤(公)会員】の出場選手計9名へ熱いエールが送られ、各選手が大会への意気込みを語りました。その後、特訓を夜な夜な重ねた新入会員演ずる中央会ボンバーによる『実行力』を披露し、第39期渡辺会長にエールが送られ、会場が一体となって盛り上がり、第39期渡辺丸の出港は見事に成功したのではないのでしょうか。また、新入会員の紹介・挨拶も行われ各々が元気よ

くアピールをしていました。

楽しい時間はあっという間に過ぎるものです。懇親会も中締め時間となり安倍境港市副市長の万歳三唱で締め括られました。御来賓・OB会員をお見送りした後、谷口新OBに現役から感謝を込めての胴上げが行われ、懇親会は大盛況の中、閉会となりました。

(記事:吉村)



鳥取県中小企業青年中央会 第39回通常総会

平成25年7月22日(月)
ホテルサンルート米子

平成25年7月22日、ホテルサンルート米子に於いて、鳥取県中小企業青年中央会 第39回通常総会が開催された。

渡辺会長、河津県副会長を始め、新OBも含む総勢139名の会員が参加した。



まず北口県会長より「本年度の県のテーマは『同志一丸』でした。これは企業を取り巻く大きな問題に東中西の中央会が全会一丸となって乗り越えていかなければ今後の中央会、ひいては鳥取県の発展はないとの想いを込めました。また、3月のビジネス交流会では、年度末の忙しい中、たくさんの出展や御参加大変感謝しております。この1年間、どうもありが

通常総会終了後は場所を隣室に移し、多数の来賓の方々をお迎えしての懇親会が始まりました。

幕開けを飾ったのは山陰酸素工業株式会社【酸友連】の方々による勇壮な太鼓。

続いて、伝統となっている鍵の引渡し式では、第38期北口県会長より第39期水野一久県会長に無事引き渡され、新会長挨拶では今年度テーマの『共感力』に込められた熱い思いが述べられた。

また、来賓の方々からは、平井知事・団体中央会常田会長にご祝辞をいただき

とうございました。」との挨拶で総会は始まった。

続いての通常総会では、河津県副会長が議長に選出され、通常総会議案書に従い進められた。まず第1号議案では、平成24年度事業報告・収支決算書が提出・発表され、満場一致にて承認された。



続いて、第2号議案の任期満了に伴う新県会長指名承認では、東部の水野一久新県会長が発表され、「異議なし」の大音量の声の下、満場一致にて承認された。

さらに第3号議案の任期満了に伴う新役員指名承認の件では、先ほど承認され

た。

さらに、常田会長より第38期県会長並びに各地区副会長への盾の授与に続き、第38期県出向役員一同より第38期北口県会長へサプライズとして、『同志一丸』の石版がプレゼントされた。終盤、各地区第39期会長による今期のスローガンの発表と理事紹介には、地区それぞれの個性があらわれており、各地区の今年度に大いに期待させるものであった。

最後は株式会社商工組合中央金庫、笛田店長の中締めで閉会となったが、会員企業への資金面の心強い言葉には大喝采



た水野新会長より次年度役員が発表され、これも満場一致にて承認された。続いて、第4号議案平成25年度事業計画・収支予算書(案)が水野新県会長より発表され、満場一致にて承認された。

最後に水野新県会長より、新年度のテーマ『共感力』が発表され「北口県会長の想いを引き継いで頑張っていきたい。」と締めくくり、無事通常総会は閉会となった。

であった。

今回の総会・懇親会は西部選出の第38期北口県会長の締めくくりでもあり、米子での開催であったが、新旧の県出向を始め準備に当たられた会員の尽力と、遠路はるばる参加していただいた東部・中部の会員の方々のお陰で、北口丸の帰港と水野丸の出港を盛大に祝う事が出来た事にお礼を申し上げ、懇親会の報告としたい。

(記事:竹谷)





第33回全日本トライアスロン皆生大会



スタート前壮行会

7月14日、33回を数える、歴史ある『全日本トライアスロン皆生大会』が開催され、倉光トライアスロン壮行会団長と、新入会員で結成された応援団による、トライアスロン壮行会が執り行われました。

早朝6時という時間にもかかわらず、既に会場は熱気に包まれており、中央会を代表して出場する宮崎会員・チームまいしこ・チームTSCに、真夏の暑い日差しに負けない熱いエールが贈られました。

トライアスロンは、スイム3km、バイク145km、ラン42.195kmで競い合う、まさに鉄人レースです。結果も重要ですが、選手全員が事故無く、無事ゴールできることが、何より大切なことです。

そんな思いを選手の皆さんに伝えることができ、そして中央会の団結力が改めて感じられた素晴らしい壮行会でした。

(記事:三鴨秀文)



トライアスロン参加選手感想

宮崎大輔会員



1年半のブランクはやはり大きく、まずは太りすぎ!! 5kg以上はベスト体重から重い体重だったので、膝は痛むし足首も捻るし爪も割れるし、とにかく今回のレースは過去最高最長に楽しめました。暑さが例年ほどではなかった事が唯一の救いで、もしもこれが例年の灼熱地獄だったら・・・と思うとゾッとします。また、ボランティアの方々の温かさが改めて身に染みしました。順位に拘って見えなくなっていた沢山の皆生の魅力を再発見出来て、本当に価値の高い経験となりました。改めて、中央会会員の皆様は勿論、大会関係者すべての方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

(宮崎大輔)

チームまいしこ【後藤(公)会員、福庭会員、横山会員】



『石の上にも三年』『三度目の正直』等々の言葉を借りるまでもなく、何事も3年(≒3回)は続けないと意味がないとおもい、今年もトライアスロン団体戦に挑戦しました。

申し込みを済ませた春先には中々モチベーションが上がらず、どうなることかと他人事のようにおもっていましたが、5月の北海道庁への研修旅行を契機にスイッチが入り、早朝・深夜・休日に練習を積み、各人悔いのないレースができました。

ソロ・団体戦を問わず、皆生大会は出場したくても出場が叶わない選手が数多くおられます。これから皆生を目指す会員諸氏にはそういった選手たちのことを念頭に置いてもらい、真剣に向かってもらいたいとおもいます。

最後になりましたが、たくさんの応援と協賛をありがとうございました。

(後藤公平)

チームTSC【安岡会員、赤井会員、白石会員、秋里会員】



あっという間で長い1日が終わりました。今年も皆様のおかげで出場させて頂いた皆生トライアスロン。チームTSCという逃げ道のない名前を付けさせて頂き挑んだ大会でした。結果は55チーム中42位という成績。僕の受け持ったランパートは5時間10分で34位、練習不足の割にはいいタイムでした。これも沿道の皆さん、友達、TSCの仲間、ボランティアの皆さん、ずっと付いてきてくれた家族、スパーサブの秋里委員長、そしてスイム安岡会員、バイク赤井会員がタスキを繋いでくれたおかげです。とにかくゴールしたい一心で最後の3kmは、誰かに勝ちたいとかではなく、自分自身に負けないように無意味に猛ダッシュしました。家族やチームメイトたちとゴールテープをきれた事、本当に嬉しかったです。この感動と達成感ともうちょっと出来たはずだという後悔を胸に、来年も引き続き挑戦します! 本当に皆さんありがとうございました!

(白石博昭)



実行委員長 長田賢一



第33回トライアスロン皆生大会に携わった全会員の皆さん、本当にお疲れ様でした。大きな問題も無く無事に大会を終えましたのも会員皆さんの協力があったの事と思います。会員の皆さん、有難うございました。

今年は実行委員長という立場からトライアスロンに携わらせて頂き、改めて中央会のパワーには驚かされました。各部長から副部長・

部員と縦の統率力・部員同士の仲間意識の強さ、またそれとは別に各部がお互いに協力しあって一緒に頑張ろうという団結力の強さを思い知らされたトライアスロンとなりました。この様な例年とは違うトライアスロンを体験させて頂いた河津直前会長には感謝致します。

現在トライアスロン皆生大会は中央会(会員皆さん)の力無くしては大会運営が出来ないと思う程、各部署に中央会が携わって活動しています。今後も中央会のパワーを対外的にPR出来る場としてトライアスロンを多いに活用するべきだと感じますので、継続事業として参加し、もっともっと中央会をPRし続けて下さい。

最後になりますが、今回部長をされた松田マラソン部長・濱田ボランティア部長・山内AS部長、不甲斐ない実行委員長にも関わらずトライアスロン事業を盛り立てて頂き有難うございました。間違いなくトライアスロンの功労者はあなた方3人です。

松田部長・濱田部長・山内部長、本当にお疲れ様でした。



マラソン部長 松田幸紀



第33回全国トライアスロン皆生大会本当にお疲れ様でした！中央会へ入会して、2年目からマラソン部の一員になり、今年で8年目になります。

昨年の大会終了後すぐに、牧田部長よりタスキを受け継ぎました。

しかし、何も分からず、たくさんの事を教えて頂きながら、竹ノ内副部長、総務統括廣

谷会員・備品統括中村会員・コース統括高塚会員を始め、マラソン部員皆さんの多大なるご協力のお陰で何とか大会を終える事が出来ました。ポスター貼りに始まり・備品洗い・看板立て・前日・当日・後日作業と、本当に怒涛の準備・作業でしたが、マラソン部メンバーとそれ以外の皆さまのご協力のお蔭で、全ての作業を予定時刻より早く終了する事が出来ました。本当に感謝申し上げます！

中央会では多くの行事・イベントがありますが、中央会メンバーは本当に素晴らしいと毎回おもっております。そして、今回マラソン部長をやらせて頂き、その想いが更により強くなりました！

最後になりますが、マラソン部メンバー・山内AS部長・濱田ボランティア部長を始め、他の部からお手伝いに来て頂きました皆様に心より感謝申し上げ、トライアスロンの感想とさせて頂きます。本当に皆さんありがとうございました。

第33回全日本トライアスロン皆生大会を終えて

ボランティア部長 濱田 修



大会当日、21時半の競技終了後にフィニッシュゲート前でボランティア部長として大会の締めくくりに万歳三唱のコールを終えた瞬間、本当に体中の力が抜けていくようでした。本格的に活動を開始してから約3カ月半の準備期間を経て迎えた大会が無事終わり、与えられた大きな責任をとりあえずは果たすことができましたという充実感と安堵の気持ち、そして心地よい疲労感がどっと押し寄せました。ボランティア部長ならではの達成感と体験だったと思います。

振り返るまでもなく、大会までを無事に終えることができたのは部員の方はもちろん、部をこえて色々な方々からご協力を頂いたおかげです。時には無理なお願いをしたこともあったかと思いますが、本当にありがとうございました。

大会が終わって正直かなりホッとしています。この原稿を書いている時点でまだ多少仕事は残っていますが、今年の反省点も含めてしっかりとまた来年に繋げて行きたいと思ひます。

AS部長 山内英樹



本年、AS部長を務めさせて頂きました山内です。昨年は副部長としてASに参加させて頂きましたが、部長となると緊張感が全く違います。正直、当日の朝まで「何かやり残したことがあるんじゃないか」とか「何かの備品を忘れていないんじゃないか」などとネガティブな事ばかり考えて、不安でいっぱいでした。しかし当日になってみると、本

田副部長と石原副部長・各パートリーダーの皆様・渡辺会長・長田実行委員長・岩田副会長・盛政専務理事をはじめ、AS部員全員で私をサポートして頂き、何の不安もなく終える事ができました。新入会員の皆様にも大変お世話になりました。初めての経験で戸惑う事ばかりだったと思いますが、来年の大会では経験者です。来年の新入会員さんにASの良い伝統として今年の経験を継承して頂きたく思います。

いろいろな方々に支えられて乗り切ることのできた今回のトライアスロンは私にとって特別な大会になりました。会員の皆様本当にお世話になりました。感無量です。



新入会員が見たトライアスロン

volunteer

宮田 昇

今年、初めてボランティアに参加しました。総延長190キロに及ぶ過酷なレースを耐え抜いた鉄人と、それを支えた家族や仲間たち。東山のゴール地点ではたくさんの感動のドラマを見ることが出来ました。多くの選手達は疲労困憊の中、家族や仲間達と一緒にゴールテープをきる瞬間には素敵な満面の笑みをみせてくれました。

ゴール後、サプライズで隠し持っていた結婚指輪をプレゼントし、そのままプロポーズをする選手もいました。(テレビや映画の一場面みたいでした。カッコいい~)

また、ボランティア部の一員としても準備段階から活動をしました。主に学校関係の担当でしたが、先生方のご協力には大変感謝しています。参加した生徒達から「また来年もボランティアに絶対参加するからまた会おうね」と言われた時はとても嬉しかったです。本当に貴重な体験ができたことに感謝しています。皆様おつかれさまでした。

倉光史朗

去る7月14日(日)、第33回全日本トライアスロン皆生大会にAS部ボランティアとして参加させていただきました。私にとっては、すべてが初めてという経験の中、まず壮行会での応援団長という役割が待っており、緊張状態でその時を迎えましたが、新入会員の仲間たちの協力のおかげで無事に終えることができました。天気は申し分ないほどの快晴で、日焼けで体じゅうヒリヒリする状態でしたが、「一番大変なのは選手」であると自分自身に言い聞かせ、声援を送らせていただきました。早朝から夜遅くまでの長丁場でしたが、大変貴重な経験をさせていただきました。選手の皆さんも無事ゴールされ本当にお疲れさまでした！

山崎慎也

今回初めて皆生トライアスロンに参加させて頂きました。何も分からない状態での参加でしたが、県内外から多くの参加者とその応援に駆けつけた方々、また大勢のボランティアの方々と改めて本大会に関わる人の多さと、大会の歴史、規模の大きさにも大変驚きと感銘を受けました。また様々な役割の中、微力ながら本大会に携われた事を大変うれしく思っております。

中央会としては、継続事業の一つであるという事ですが、綱領にもある『社会に奉仕しお互いの友愛を深める』ことが出来るのは、このトライアスロンのボランティアではないでしょうか。また本大会がここまで継続されたのも、誰のため、そして何のために、なぜ毎年行われているのか今一度考え、今回の経験を元に来年以降も頑張っていきたいと思っております。

石田倫章

7月に入り、米子は連日気温40度に迫ろうかという猛暑が続いておりましたが、大会当日は暑さも多少ながら和らぎ、安堵しました。

午前7時のスタートで、一斉に皆生の海へ飛び込んでいく選手達を見た時は、これから彼らが本当に約190kmの行程を走破してゴールに辿り着けるものなのかと、にわかに信じられなかったものです。しかし、その後ASにて通過していく選手達を見てみると、ゴールを目指し前進していく彼らのパワーや気力に驚かされるばかり。選手達の発するオーラをあてられて、私も自然と応援に熱が入りました。

鉄人達を間近で応援できたこと、僅かながら運営に関われたこと…この夏は非常に貴重な経験をすることができました。本当にありがとうございました。

(広報委員会)



村田 博 AB型
 村田家 代表
 建設業
 〒683-0027 米子市陰田町627-5
 TEL 33-8966 FAX 57-5212
 (KT) 090-3638-0644
 (EM) info@murataya.net

H25.07 (H24年度) 入会
 (推薦者) 北口(智)
 盛政(春)

S50.03生

<コメント>

建設業と農業を営んでおります村田家の村田博と申します。若干、初々しさには欠けますが何分この世界は全く解りません。ですので、皆様の知恵と、ご経験をお借りしたいと思いい入会させて頂きました。ほんの少しだけでも、皆様のお役にたてれば幸いです。「実るほど頭を垂れる稲穂かな」の精神で頑張っていきたいと思っております。そして皆様方との縁を大切にしながら鳥取県西部中小企業青年中央会の活動に取り組みます。宜しくお願い致します。

(総務委員会)



北島 美佳 B型
 株式会社マナーズメント米子(米子全日空ホテル) 企画販売促進室 主任
 ホテル業
 〒683-0824 米子市久米町53-2
 TEL 36-1112 FAX 36-1115
 (KT) 090-7893-9826
 (EM) kitajima@anahotel-yonago.com

H25.07 (H24年度) 入会
 (推薦者) 阿部(信)
 盛政(春)

S57.07生

<コメント>

米子全日空ホテルの北島美佳と申します。入会を機に、新しい知識や輪を広げて成長したいと思っています。また、私が入会させていただいたことで、新しい風として少しでも皆様のお役にたてたら嬉しいです。わからないことだらけですが、色々教えてください。宜しくお願い致します。

編集後記

39期の広報委員会の活動がいよいよスタートを切りました。広報委員会一同、メリハリある情報発信を心がけてまいります。

1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

(広報委員会 委員長 生田育永)

『緊急速報! 岡島さん発見!!』



がいな祭りで、よさこいを踊る事務局の岡島さんを発見!! 普段と違う姿にモォ〜釘付け。華やかに祭りを盛り上げていました。(記事:吉田)

8月例会案内

と き：平成25年8月20日(火) 19:00~21:00
 場 所：ホテルサンルート米子 芙蓉東・芙蓉西
 内 容：30周年の振り返りと10年間の活動
 年間スケジュール発表
 各部長の発表と抱負
 担 当：40周年記念事業委員会

8月役員会報告

8月役員会が平成25年8月1日(木)米子市文化ホールにて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
 ・7月総会、卒会式、懇親会の開催報告
 ・8月例会について ・その他
 ※なお、詳細については各委員長までご参照ください。

新入会員